

中学生・高校生向け



『ウシのげっぶを退治しろ』
大谷智通／著 小林泰男／監修
旬報社 ¥1,600 (税別)

ウシのげっぶに含まれ、地球温暖化に影響するメタン。メタン問題の研究者と、塗料の原料として輸入された「あるもの」が奇跡的に出会い、メタン削減飼料が生まれた。この飼料の話を中心に牛の生態、未来の畜産、新たな温暖化対策を学べる。



『絵で旅する国境』
クドル／文 ヘラン／絵 なかやまよしゆき／訳
文研出版 ¥2,500 (税別)

「鳥や魚は自由に行き来できるけれど、船や飛行機では自由にこえられない線」、国境。人が決めた線であるが故に、検問所や壁など閉ざされた国境もあり、国同士の関係性も読み取れる。日本では意識しづらい国境について詳しく学べる。



『「オードリー・タン」の誕生』
石崎洋司／著
講談社 ¥1,500 (税別)

ITを活用した素早い感染症対応で世界から注目された台湾のIT相オードリー・タン。優れた才能を持ち、15歳で起業するなど、恵まれて見えるが、いじめや体罰で不登校となった過去があった。困難の中で今も歩み続けるオードリー・タンの伝記。



『笹森くんのスカート』
神戸遙真／著 みずさ／絵
講談社 ¥1,400 (税別)

突然、スカート姿で登校してきた笹森くん。人気者のイケメンがなぜ?ジェンダーフリー制服が導入されたばかりの高校で、様々な憶測が飛び交う。4人の同級生と笹森くんの視点で描く、世間の常識に疑問を投げかける爽やかな青春小説。



『作家たちの17歳』
千葉俊二／著
岩波書店 ¥880 (税別)

太宰治、芥川龍之介など、教科書で名前を目にする著名な作家たちは、10代をどのように過ごし、何に影響を受けたのか、当時の日記や著書を用いてひもとく。文学に興味がある人だけでなく、人生の岐路で悩む中高生に手に取ってほしい一冊。



『さばの缶づめ、宇宙へいく』
小坂康之／著 林公代／著
イースト・プレス ¥1,500 (税別)

2020年に野口聡一宇宙飛行士が宇宙で食べ話題になった「サバ醤油味付け缶詰」。生徒の何気ない一言から始まった「宇宙食さば缶詰」作りが、どのように行われ、その後JAXAに正式認証されたのか。福井県立若狭高校の生徒たちの努力を描いた一冊。



『「死んでもいいけど、死んじゃだめ」と僕が言い続ける理由』
大空幸星／著
河出書房新社 ¥1,420 (税別)

悩みがある時や「望まない孤独」に陥った時は、人に相談をして欲しい。問題が整理でき、解決に向かうことがある。著者の子どもの時代のつらい経験と、人の悩みを24時間チャットで聞く現在の活動から生まれた、中高生に伝えたいメッセージ。



『スクラッチ』
歌代朔／作
あかね書房 ¥1,500 (税別)

「総体」が中止となり行き場のない怒りを感じていたバレー部の鈴音は、不注意から美術部の千咲の作品を汚してしまい…。コロナ禍で様々な行事が実施できず、当たり前前の日常を奪われながらも前を向き進んでいく中学生たちの物語。

その他のおすすめの本

『あの子のことは、なにも知らない』
栗沢まり／作 中田いくみ／絵 ポプラ社 ¥1,500 (税別)

『生きのびるための「失敗」入門』
雨宮処凛／著 河出書房新社 ¥1,420 (税別)

『ウクライナから来た少女ズラータ、16歳の日記』
ズラータ・イヴァシコワ／著 世界文化ブックス ¥1,500 (税別)

『大人になるってどういうこと?』
神内聡／著 くもん出版 ¥1,500 (税別)

『ごはん食べにおいでよ』
小手鞠るい／作 satsuki／画 講談社 ¥1,400 (税別)

『13歳からの地政学』
田中孝幸／著 東洋経済新報社 ¥1,500 (税別)

『ソノリティ』
佐藤いつ子／著 KADOKAWA ¥1,500 (税別)